

東海経済レポート（2013年1月）

～東海地域の景気は、底入れしつつあるとみられる～

経済調査室（名古屋）

1. 足元の経済情勢

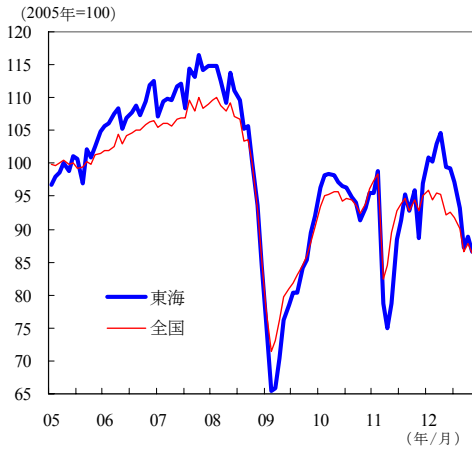
経済指標は、まだ弱めのものが多い

- ✓ 生産は、11月に前月比▲2.6%と再びマイナスに転じた。エコカー補助金の終了や中国向けの不振などにより、輸送機械セクターがマイナス。
- ✓ 輸出は、12月に前年比▲2.2%と再びマイナスに転じた。アジア・EU向けの減少が続く一方、米国向けが3ヶ月連続のプラス。
- ✓ 設備投資では、設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額が、11月は前年比▲26.3%と6ヶ月連続でマイナス。
- ✓ 雇用は、11月の愛知県の有効求人倍率は1.06倍と5ヶ月連続で低下した。他県も同様に低下。
- ✓ 個人消費では、11月の新車販売台数が前年比▲0.2%と3ヶ月連続でマイナスになった一方、スーパー・コンビニ等小売主要3業態は前年比+2.4%のプラスに転じた。住宅着工は6月以降増加基調で推移。

2. 当面の注目点・リスク要因

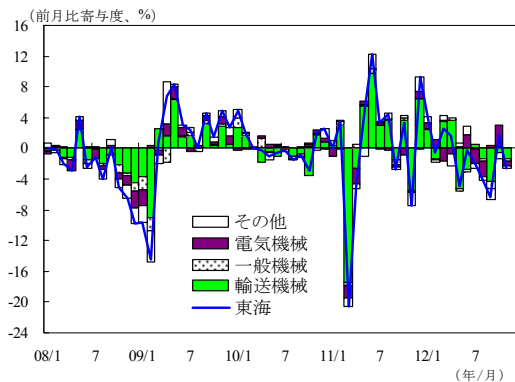
- ✓ 政権交代をきっかけに円高の修正や株高が進んでいることに加え、2012年度補正予算を中心とする緊急経済対策も比較的迅速に審議・成立する見込みで、すでにマインドの改善をもたらしている。
- ✓ 国内向け自動車生産は計画通り昨年12月から増産に転じているとみられているが、スマートフォン向け電子部品の減産観測が強まっており、昨年9月以降急回復を示した電子部品・デバイスセクターへの悪影響が懸念される。
- ✓ 引き続き、①アベノミクスに対する期待が剥落し、予想以上の円高、株安となるリスク、②日中関係が再び緊迫化するリスク等には、警戒が必要である。

生産① 11月の鉱工業生産指数は前月比▲2.6%と再び減少した。



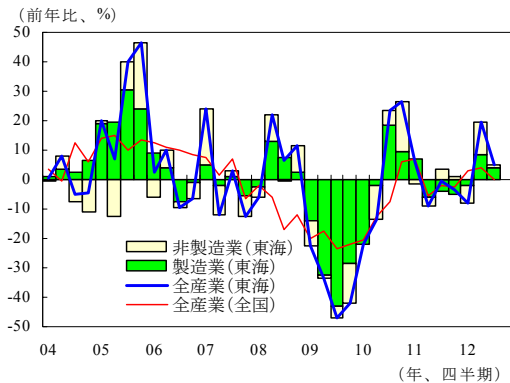
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県
 (資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」等より
 三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

生産② 業種別では、電気機械と一般機械、輸送機械はともに減少。



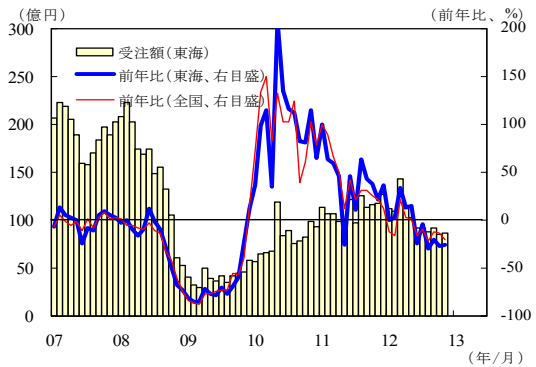
(注) 1. 季節調整値
 2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県
 3. 電気機械は電子部品・デバイス等を含む旧分類
 (資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」より
 三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

設備投資 7-9月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比+4.8%とプラス幅が縮小した。



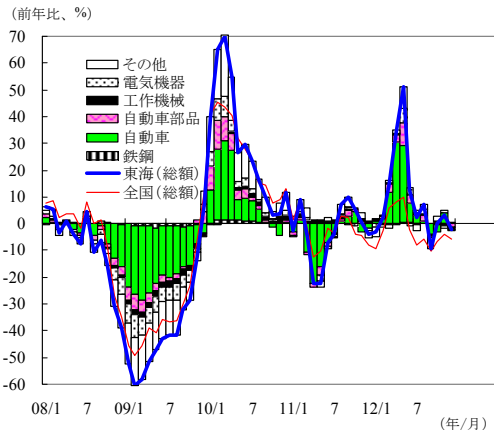
(注) 1. 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県
 2. 資本金10億円以上の企業を対象
 (資料) 東海財務局「四半期別法人企業統計調査」より
 三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

金属工作機械受注 設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額は、11月は前年比▲26.3%と6ヶ月連続で減少。



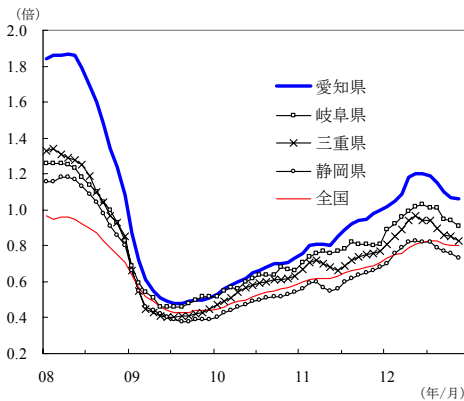
(注) 1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社
 2. 受注額は当室による季節調整値
 (資料) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」等より
 三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

輸出 12月の輸出額は、前年比▲2.2%と再びマイナスに転じた。



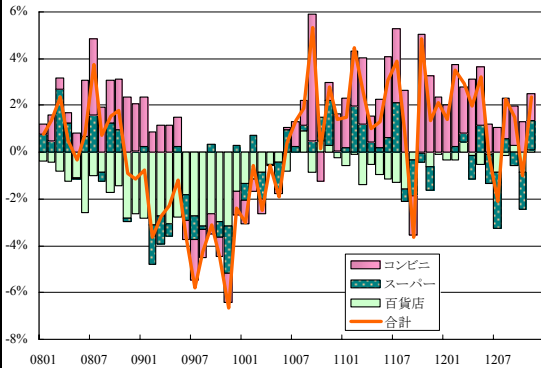
(資料) 財務省「貿易統計」、名古屋税関「管内貿易概況」より
 三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

雇用 11月の愛知県の有効求人倍率は1.06倍と、5ヶ月連続で低下。他県も同様に低下。



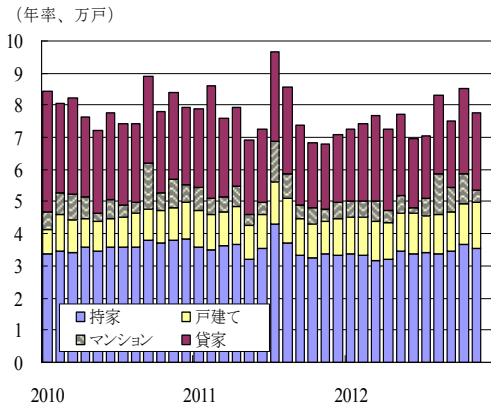
(注) 1. 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数
 2. 季節調整値
 (資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より
 三菱東京UFJ銀行 経済調査室作成

個人消費 11月の小売主要3業態の販売は前年比+2.4%となった。業種別では、百貨店・スーパーともにプラスに転じた。



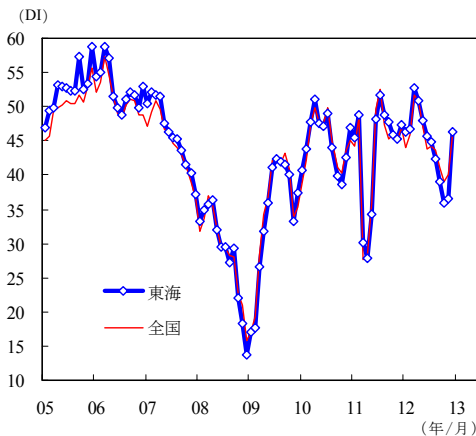
(注) 東海は愛知・岐阜・三重・富山・石川の5県
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売概況」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

住宅投資 11月の住宅着工戸数は年率換算で約7.9万戸と引き続き好調。



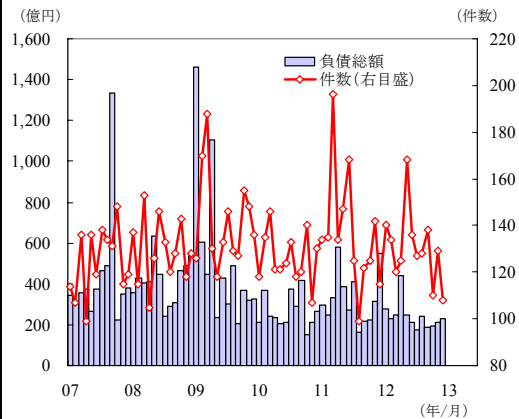
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県
(資料) 国土交通省「建築着工統計」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

景気ウォッチャー調査 12月の景気現状判断DIは+46.3と9ヶ月ぶりに上昇。



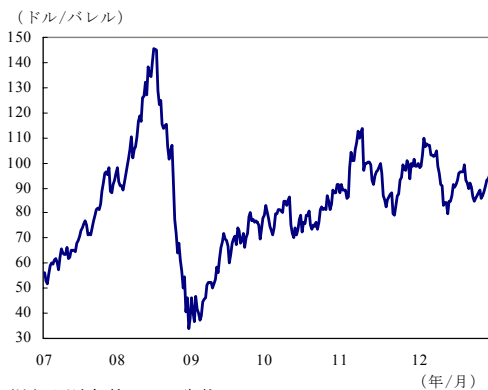
(資料) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

倒産件数 12月の企業倒産件数は108件と減少(前年比で▲6.1%)。負債総額は同▲58.2%と大幅に減少。



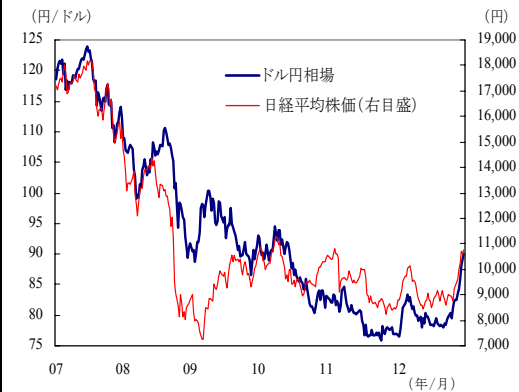
(注) 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県
(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

原油価格 米国の景気回復に対する期待を背景に、90ドル台半ばまで反発。



(注) 原油価格はWTI先物
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

円相場・株価 円相場は、日銀への追加金融緩和圧力の増大を背景に90円前後にまで下落。株価は、デフレ脱却・円安などによる企業業績の改善期待が高まり大幅上昇。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H25.1.30 富田 潤 jiyun_tomida@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。